

**■ご挨拶**

皆様には日頃からファミリーハウス活動に対しご理解、ご支援を賜りまして心からお礼申し上げます。

この一年間、会員やボランティアの皆様をはじめ、多くの方々にご協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。

今年度は独自のファミリーハウス開設に向けて検討委員会を設置し、様々な議論を重ねた結果、小規模ながら開設して行くことで



▲総会の様子

意見がまとまり、「しろうくまハウス」として開設することとなりました。これからも患者さんや家族にとつて金銭的な負担の軽減や不慣れな土地での治療という精神的な負担の軽減のお役に立つよう運動を進めて参ります。

この一年間の活動を振り返りながら、頂戴したご意見などを次年度に生かして参りたいと考えております。引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**■第十二回通常総会**

五月二十五日(土)に「第十二回通常総会」を開催しました。

総会では、二〇一八年度事業報告、収支決算および監査報告を行い、報告どお

# 第十二回 通常総会ひらく

五月二十五日(土)

り承認されました。

引き続き、二〇一九年度の事業計画・予算・役員について審議の結果、提案どおり決定されました。

なお、今回の総会では、NPO法の一部改正に伴い、定款の一部(貸借対照表の公告方法変更)を改正しました。

**二〇一八年度 事業報告**

**一・特定非営利活動に関わる事業**

(一) 援助および支援活動

①入院治療を受けている子どもたちの笑顔づくりの活動として、昨年好評だった劇団風の子による演劇「どさんこぴーひやらあそび組」を病院内で上演し、子

北海道ファミリーハウス  
—NPO法人—  
**北海道ファミリーハウス通信**

2019年9月2日発行/No.22

発行:NPO法人北海道ファミリーハウス  
責任者:事務局長 大西 可奈  
060-0807札幌市北区北7条西6丁目  
TEL(011)716-4161 FAX(011)716-4162

(二) 道民に理解を求めめる広報活動

あらゆる広報媒体を通じて、道民に広くPRする活動を行いました。

①ホームページやガイドブックを活用し、活動内容と施設情報を提供しました。

②パンフレットを活用し、活動内容のPRを行いました。

③PRチラシを各種イベントや病院などで配布しました。

④「NPOファミリーハウス通信」を発行(二〇〇〇部×二回)し、活動の状況などを紹介して運動への理解と支援に結びつける取り組みをしました。

▲「どさんこ  
ぴーひやらあそび組」  
チケット

木製  
オーナメント▶

子どもと家族を招待しました。またクリスマスにはツリー用木製オーナメントをプレゼントしました。

**2018年度 助成金・ご寄付・ご協力**

ファミリーハウス運動に対し、各方面から多大なご支援をいただきました。心から感謝申し上げます。

**■助成金(敬称略)**  
北海道信用金庫社会福祉基金  
：五〇、〇〇〇円  
赤い羽根共同募金会  
：七五、〇〇〇円

**■ご寄付**  
我汝会さっぽろ病院様  
：一〇、〇〇〇円  
個人(村越 美香様)  
：二、〇〇〇円  
個人(小林 博様)  
：一〇、〇〇〇円  
ハウス運営協力  
(株)オール様

**2018年度 ファミリーハウス利用実績**

ホテル利用:529日(一部未集計)  
オーナー物件:344日  
(2018.4.1~2019.3.31)

(決算は裏面に)

会員口数(2019.3.31現在)

正会員:27口	賛助会員:1,709口	法人会員:9口
---------	-------------	---------

**2019年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支予算書**

2019年4月1日から2020年3月31日まで (単位：円)

科 目	金 額	備 考
I.収入の部		
1.会費収入	84,000	個人・法人
2.賛助金収入	1,769,000	個人・法人
3.助成金収入	0	
4.寄付金収入	0	
5.事業収入	164,000	
6.雑収入	0	
当期収入合計 (A)	2,017,000	
II.支出の部		
1.事業費	2,598,000	
(1) 援助及び支援活動	635,000	ボランティア団体との共同事業・応援事業
(2) ファミリーハウスの設置及び運営	1,368,000	FHの設置・運営費用及び大家支援
(3) 道民に理解を求める広報	595,000	広報事業
2.管理費	1,350,000	
当期支出合計 (B)	3,948,000	
当期収支差額 (A) - (B)	-1,931,000	

その他事業 なし

**2018年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支決算書**

2018年4月1日から2019年3月31日まで (単位：円)

科 目	金 額	備 考
I.収入の部		
1.会費収入	84,000	個人・法人
2.賛助金収入	1,769,000	個人・法人
3.助成金収入	125,000	北海道信金様・共同募金会様
4.寄付金収入	22,000	個人
5.事業収入	0	
6.雑収入	2,590	利息
当期収入合計 (A)	2,002,590	
II.支出の部		
1.事業費	1,217,198	
(1) 援助及び支援活動	644,276	交通費、行事費、そらぶち支援など
(2) ファミリーハウスの設置及び運営	262,002	ガイドブック、ホテルパンフ印刷
(3) 道民に理解を求める広報	310,920	FHパンフ、FH通信
2.管理費	743,834	
当期支出合計 (B)	1,961,032	
当期収支差額 (A) - (B)	41,558	次期繰越額

その他事業 なし

**二〇一九年度  
事業・活動計画**

**一・事業実施の方針**

入院治療を受ける患者とその家族（小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族）を経済的並びに精神的に支援する活動を行なっていきます。

**二・特定非営利活動に係る事業**

**(一) 援助及び支援活動**

入院治療を受ける患者とその家族（小児がん等難病患者をはじめとする入院患者家族）を支援するために、病院の隣接地区にあるファミリーハウス（賃貸住宅や宿泊施設等）の情報を提供し、ニーズに合わせ円滑な利用が図れるよう活動を行なっていきます。

○ホテル利用者の割合が高くなる傾向にあることから、登録ホテルの充実を図ります。

○子どもの笑顔づくりの活動として、他団体との連携・支援を行います。


○治療に専念する子どもたちの希望につながる活動として、「そらぶちキッズキャンプ」を支援します。

**(二) ファミリーハウスの設置及び運営**

滞在施設を独自に開設し、運営できるように活動を強化するため「運営委員会」を設置します。また、道内の医療機関から紹介を受けて、道外の高度専門医療機関で治療を受ける患者家族に対しても、その地域のファミリーハウス紹介などの支援を行います。

**(三) 道民に理解を求める広報**

インターネットを中心にしながら、あらゆる広報媒体を使って、入院治療を受ける患者と小児がん等難病の子どもたち及びその家族の現状についてPRする活動を行います。



ファミリーハウス運動は、施設のオーナーさま、ホテルの社会貢献など多くのボランティアに支えられています。

**二〇一九年度  
第一回理事会を開催**

第一回理事会を開催し、左記のとおり選任しました。また、ファミリーハウス運営検討委員会を設置し、委員を選出しました。

**2019年度  
役員**



理事長  
南谷 晴之

- 理事長 南谷 晴之 (再任)
- 副理事長 神戸 智子 (再任)
- 理事 大西 可奈 (再任)
- 理事 島山 茂房 (再任)
- 理事 加藤 弦 (再任)
- 理事 塩谷 えり子 (再任)
- 理事 新山 久美 (再任)
- 理事 小林 敬 (再任)
- 理事 川原 直行 (再任)
- 理事 松澤 優樹 (再任)
- 理事 高橋 誠 (再任)
- 理事 長崎 剛介 (再任)
- 理事 中村 真一 (再任)
- 監事 金田 耕二 (再任)
- 顧問

**そらぶちキッズキャンプ**  
(公益財団法人)

<http://www.solaputi.jp/>

病気とたたかう子どもたちのための自然体験施設実現に向けたプロジェクト。日本ではじめて医療施設を完備し特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを設けた夢のキャンプです。自然の中で病気のことを忘れ、笑顔で楽しいひとときを過ごせる場所を提供することを目的としています。